

令和7年度 調布市立第七中学校 全期 指導計画・評価計画表【3年生 家庭科】

観点 1 知識・技能 2 思考・判断・表現 3 主体的に学習に取り組む態度

学習単元	観点	単元の評価規準（学習評価表）	具体的評価規準（おおむね満足 B）	評価方法・場面	弱点克服
B 様々な食品と その選択 A 家族・家庭生活 4月～5月	3	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーやアナフィラキシーについての怖さをよく理解して、また、幼児にとってのおやつ意義を理解して安心な加工食品（おやつ）を選ぶことができる。 ・幼児の心身の発達や基本的な生活習慣について関心を持ち、発達や習得の過程を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・加工食品に関心を持って課題に取り組んでいる。 ・原材料名を見て、アレルギーに配慮した幼児のためのおやつ選びをすることができる。 ・心身の発達の概要を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・プリント ・課題レポート ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・未提出連絡 ・プリント整理 ・被服室内の個別サポートコーナーでの対話的助言
A 家族・家庭生活 6月～11月 A	1 2 3	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の発達と家族との関わりについて課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫し創造する。 ・子どもの健やかな成長のために、自分で 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の心身の発達に適した接し方やかわり方について、自分なりの工夫をしたり新たな方法を考えたりしている。 ・安全で快適な室内環境の整え方と住まい方について、家庭内事故の防止、自然災害への備え、室内の空気調節、音と生活との関わりなど、具体的な対策、改善方法について理解している。 ・教科書や図書館の本、クロムブックを活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・プリント ・振り返りカード ・主体的学びカード（授業内調べ学習） 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント整理 ・質問教室 ・被服室内の個別サポートコーナーでの対話的助言 →個別最適化サポートへ ・被服室内の

家族・家庭生活 6月～11月	1 2 3	できることを発表することができる。 ・子どもの成長にかかわる施設やサービスを説明することができる。 ・幼児とのかかわり体験 ☆オンライン交流会☆ ① 中学生による絵本の読み聞かせ等 ② 小学校1年生から中学生へのお悩み相談室等 ・オンラインで幼児（小学校1年生）と七中の三年生の代表者が交流する様子をクラスで共有し、幼児を身近に感じ、幼児の心に寄り添うことができる。 ・幼児のためのボタン付けができる。 （実技試験） ・生活に密着した基礎基本的内容の反復練習により確実に定着する。	して、幼児に興味関心を示し、意欲的に調べようとしている。 ・幼児の発達を踏まえ、幼児に応じた話し方ができる。 ・交流日までに訪問までどのように質問に答えるとよいかクラス全体での討議に積極的に参加している。 ・司書の先生の協力をおおぐ等を計画し絵本の読み聞かせのコツと環境の整え方理解できる。 ・オンラインではあるものの、幼児と交流する楽しさを実感できる。 ・小学校時代から学んだ玉結び、玉止め、ボタン付けを復習し、確実に行うことができる。	・主体的学びカード（授業内調べ学習） ・プリント ・授業観察 ・実技試験	個別サポートコーナーでの対話的助言 →個別最適化サポートへ ・被服室内の個別サポートコーナーでの対話的助言 →個別最適化サポートへ
	1 3	・幼児のための食事を用意することができる（調理実習） ・幼児に関心をもち、意欲的に学習活動に取り組み、幼児のために必要な栄養や幼児の発達と家族との関わりについて考えようとしている。	・幼児のための食事作りに意欲的に取り組んでいる。 ・幼児の心身の健康と食事関わりについて考えようとしている。 ・子供が育つ環境としての家族の役割について考えようとしている。	・授業観察 ・プリント ・振り返りカード ・主体的学びカード（授業内調べ学習）	・3学年クラスルームへの玉どめ、玉結び、ボタンのつけ方の動画配信
C					

<p>消費生活と 環境</p>	<p>1 2 3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・金銭管理のしかた等自分の消費行動を振り返り、問題を見出して課題を設定することができる。 ・消費生活のしくみや収入と支出、計画的な金銭管理、自分の消費行動を振り返って問題を見出し課題設定することができる。 ・消費者被害の現状や背景について理解する消費者被害現状と背景、悪徳商法の内容を知り、予防方法をまとめることができる。 ・消費者トラブルの解決について関心を持ち取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活の仕組みを理解している。 ・収入と支出をはかり、金銭管理の大切さを理解している。 ・金銭の管理の仕方等の自分の消費行動について問題を見出して課題を設定している。 ・消費者の8つの権利と5つの責任について理解している。 ・消費者被害と消費者の自立について考え工夫している。 ・消費者被害の事例について話し合い、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・消費者を支える支援やしくみについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・プリント ・振り返りカード ・主体的学びカード (授業内調べ学習) 	<ul style="list-style-type: none"> ・被服室内の個別サポートコーナーでの対話的助言 →個別最適化サポートへ
---------------------	----------------------	--	--	---	---